

H114		社会調査論	
英名科目名	General Introduction to Social Research		
大学名	京都橘大学		
連絡先	学務第1課 TEL : 075-574-4324 FAX : 075-574-4134		
担当教員	小山 大介 (経済学部経済学科准教授)		
開講期間	2021年09月21日(火)~2022年01月11日(火) 2講時 10時55分~12時35分(毎週火曜日)		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	火曜日 2講時
単位数	2	履修年次	2回生以上
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	0
試験・評価方法	レポート(30%)、小テスト(40%)、参加度(30%) 成績については、授業への参加度、小テスト、レポートにて客観的に評価します。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料			
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【教室情報】 決定次第、「お知らせ」へ掲示します。不明な点があれば連絡先まで問い合わせてください。</p> <p>【準備学習】参考文献や配布資料に目を通すなどの予習を行ってください。また、政府、日銀、基礎自治体、シンクタンクなどでは、多くの社会調査が行われており、それらに触れることによって、社会調査に関する理解を深めてください。また、授業で学んだことを見直したり、講義ノートを作成することで復習につなげてください。興味のある分野に着目し、各自で社会調査の企画を行うことも自主学修につながります。</p> <p>【課題の内容】 授業のなかで、論点・疑問点があれば、まずは自分自身で情報収集を進め、さらに担当教員へ気軽に尋ねてください。また、授業が進むなかで、最終授業を締め切りとするレポート課題、定期的小テストを実施します。</p> <p>【課題に対するフィードバック】 学生からの質問・疑問については可能な限り回答します。</p> <p>【履修上の注意点】 社会や経済に関する課題を探求するためには、情勢分析が必要不可欠となります。今、社会で何が起きているのか、何が問題となっているのか、知るためにも、新聞や雑誌を読み、情報収集につとめてください。その際、皆さんが興味を持っている課題について、深めてみることも重要です。また、社会調査に関する参考書や実際の調査に触れ、理解を深めてください。</p>		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標	<p>【テーマ】 社会調査の手法を学び、社会や経済の動向を把握する。</p> <p>【授業の到達目標】 1. 社会調査の全体像を把握できるようになる 2. 主要な3つの調査法の概要、長所と短所を理解できるようになる 3. 自分自身のリサーチ・クエスチョンに合わせて、調査を設計できるようになる 4. 社会調査を通じて、社会・経済の動向をとらえることができるようになる</p>		

<p>【授業の概要】 この授業では、社会調査に関わる基礎的な知識を習得した上で、受講生が自身の研究の中で実際に調査を行えるようになることを狙いとする。つまり「社会調査とは何か?」ではなく、「社会調査をどう行うか?」という点に重きを置いて授業を進めていく。まず第5回までに社会調査の全体像と、主たる3つの方法の概要について学ぶ。その上で、3つの方法それぞれについて深掘りしながら実際の調査方法を学び、最終的にそれらを総合して自分自身の調査計画づくりにつなげていく。また、社会調査を通じて、経済や社会の実態をいかにとらえることができるのか学び、経済・社会を分析する力を醸成する。</p> <p>【教育目標】 ・自分自身や社会が直面するさまざまな問題を理解し解決する能力の養成 ・物事を論理的に分析する能力の養成 ・読む力や書く力、話す力や聞く力の養成 ・専門性の高い各領域を学ぶ上で不可欠となる経営学の基礎的な知識を身につける ・AI時代において必須となるさまざまなデジタルツールを活用する能力を身につける ・経済や社会について関心を持ち、日常的に新しい知識や技能を身につけようとする意欲と態度を身につける</p> <p>講義スケジュール</p> <p>第01回 講義の概要と授業の進め方 第02回 社会調査の基本を学ぶ 第03回 社会調査を行う / 学ぶ意義 第04回 社会調査の3つの方法とそれぞれの長短所 第05回 社会調査の全体像：調査全体を設計する手法（社会調査の決め方） 第06回 聞き取り調査(1)：聞き取り調査の基本的な手順について学ぶ 第07回 聞き取り調査(2)：聞き取り調査の意義と限界について考える 第08回 聞き取り調査(3)：実際の調査結果から学ぶ 第09回 資料調査(1)：資料調査の手順や資料の収集方法について学ぶ 第10回 資料調査(2)：資料調査・分析から実態をとらえる手法 第11回 サーベイ調査(1)：サーベイ調査の基本的な手順とサンプリングについて学ぶ 第12回 サーベイ調査(2)：質問紙の設計と実施の方法について学ぶ 第13回 サーベイ調査(3)：サーベイ調査のデータ分析の手法を学ぶ 第14回 講義のまとめ：調査設計の方法や各種調査の手法を学ぶ</p> <p>教科書 授業ではレジュメ、プレゼン資料を配布します。</p> <p>参考書 『社会調査の基礎』北川由紀彦・山口恵子 放送大学教育振興会 2019 『入門・社会調査法〔第3版〕：2ステップで基礎から学ぶ』轟亮・杉野勇編著 法律文化社 2017</p>
